



# 西洋の絵画と 西洋の青



江戸時代後期、主に佐賀藩武雄領の領主鍋島茂義(1800~1862)の時代に収集されたコレクションの中に、西洋からもたらされたプルシアンブルー、ウルトラマリンブルーという鮮やかな青色の絵具があります。これらの絵具はいずれも、18~19世紀のヨーロッパで人工的に合成された青で、本来、アフガニスタンで産出される鉱石ラピスラズリを砕いて精製される高価なウルトラマリンブルーの代用色として急速に普及した人工色でした。

こうした西洋の青が日本にもたらされたことで、日本絵画における青色表現は画期的な進歩を遂げ、同時にもたらされた西洋絵画の技法も、大きな影響を与えたといわれます。

今回の企画展は、武雄に残された西洋の青(プルシアンブルー、ウルトラマリンブルー)を中心に、あわせて西洋文化が伝えられた長崎の西洋風絵画や秋田の蘭画などを紹介する展覧会です。

平成30年

10/27(土) → 11/25(日)

武雄市図書館・歴史資料館 会期中無休

蘭学・企画展示室 〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1  
TEL.0954-28-9105

開館時間 日~木 9:00→18:00 金・土 9:00→21:00

主催 | 武雄市図書館・歴史資料館

後援 | 佐賀新聞社 / 読売新聞西部本社 / 毎日新聞社 / 朝日新聞社 / 西日本新聞社  
NHK佐賀放送局 / サガテレビ / NBCラジオ佐賀 / 株式会社ケーブルワン  
株式会社テレビ九州 / 有田ケーブル・ネットワーク株式会社

平成30年度武雄市図書館・歴史資料館企画展

1868 SAGA 2018  
肥前さが 幕末維新博覧会  
佐賀さいご博  
150th ANNIVERSARY  
2018.3.17(土) - 2019.1.14(日)



# 西洋の窓口 長崎

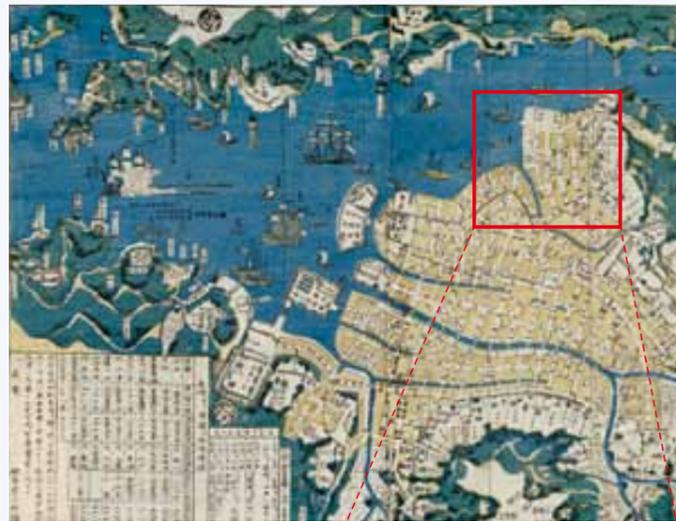
江戸幕府は、1639年、ポルトガル人の来航を禁じ、1641年には、平戸にいたオランダ人を長崎の出島に移し、この地で西洋の国ではオランダとだけ交易を行う鎖国を完成させました。以来、一年ごとに福岡藩、佐賀藩が交代で長崎の警備を命じられることになりました。これは多大の負担を強いられるものでしたが、佐賀藩にとっても西洋の文明にいち早く触れる絶好の機会に恵まれることにもなりました。



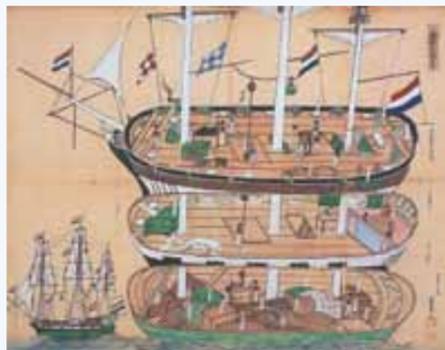
出島図(レプリカ) | 川原慶賀 作 | 武雄市(原資料:佐賀県立博物館)



蘭船図 | 広渡湖秀 作 | 長崎歴史文化博物館



肥前長崎図 | 武雄市



阿蘭陀船中図(レプリカ) | 城義隣 作  
武雄市(原資料:神戸市立博物館)

長崎・恵美須町の武雄屋敷



# 洋風画のひろがり

長崎は江戸時代、唯一、西洋に開かれた港でした。そのため、この地を通じて、様々な西洋の文物がもたらされましたが、その中には、従来の日本絵画とは明らかに異なる西洋風の絵画の技法も含まれていました。長崎では18世紀後半から若杉五十八や荒木如元など、洋風絵画を描く油彩画家が生まれました。長崎は、日本の洋風絵画の発祥の地とも言えるのです。



VOC文字入り麻袋 | 国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



鷹匠図 | 若杉五十八 作 | 長崎歴史文化博物館



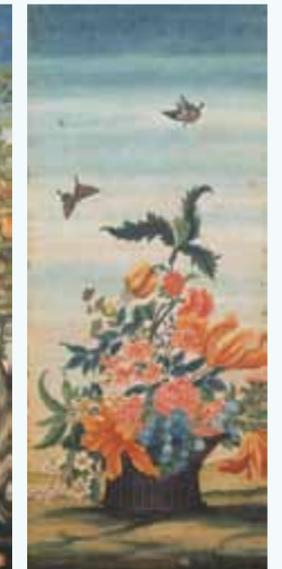
蘭人鷹狩図  
荒木如元 作 | 長崎歴史文化博物館



湖辺遊禽図 | 司馬江漢 作  
長崎歴史文化博物館



異国風景図  
若杉五十八 作 | 神戸市立博物館



花籠に蝶図  
若杉五十八 作 | 神戸市立博物館



ブロムホフ夫人図 | 田口(川原)慶賀 作  
長崎歴史文化博物館



シーボルト像 | 武雄市



帆足・吉雄両先生 依ト医賢賛(ヒポクラテス肖像)  
伝 川原慶賀 作 | 大分県立先哲史料館 杵築佐野家資料



星座図/天球図 | A.ファン・ルフトンブルグおよびC.ドンケルツ 作 | 長崎歴史文化博物館



天球儀・地球儀  
ファルク工房 作  
国重要文化財  
武雄鍋島家資料 武雄市



天球儀



日本の想い出 | リンデン 作 | 長崎歴史文化博物館



異国工場図 | 司馬江漢 作 | 神戸市立博物館

# 西洋からの工芸品

鎖国の時代、日本国内では見知らぬ西洋の国々へのあこがれや好奇心もあり、オランダとの交易の中で、さまざまな文物がもたらされることになりました。洋風柄のやきものや、装飾を凝らした置時計、金唐皮と呼ばれる皮製品などもあります。



藍絵西洋風景図稜花深皿  
国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



染付花卉文蓋物  
国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



染付西洋人物図皿(左)  
染付西洋人物図德利(右)  
武雄市



色絵唐草花文碗(下)  
色絵唐草花文皿(上)  
シーボルト記念館



伝シーボルト使用コーヒーカップ・ソーサー | シーボルト記念館



オルゴール時計 | 国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市

# 武雄に残る絵具と絵画

武雄市歴史資料館には、「武雄鍋島家洋学関係資料」として国重要文化財に指定された多くの貴重な資料が保管されています。その中には西洋からもたらされた「プルシアンブルー」や「ウルトラマリンブルー」という鮮やかな色合いの青い絵具があります。いずれも江戸時代後期の日本絵画に大きな影響を与えた絵具で、当時のものが残されていること自体、非常に珍しいことで貴重なものです。



プルシアンブルー  
国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



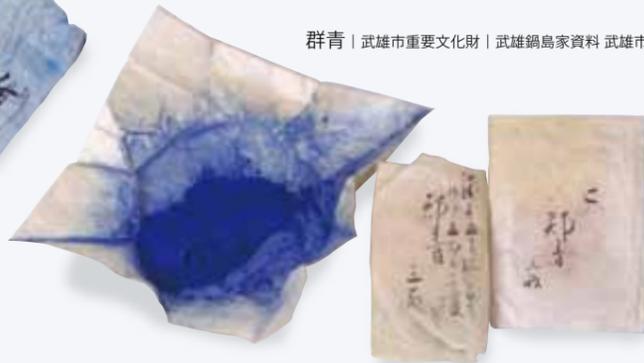
ウルトラマリンブルー  
国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



濃口ヘレンス・ヘレンス  
武雄市重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



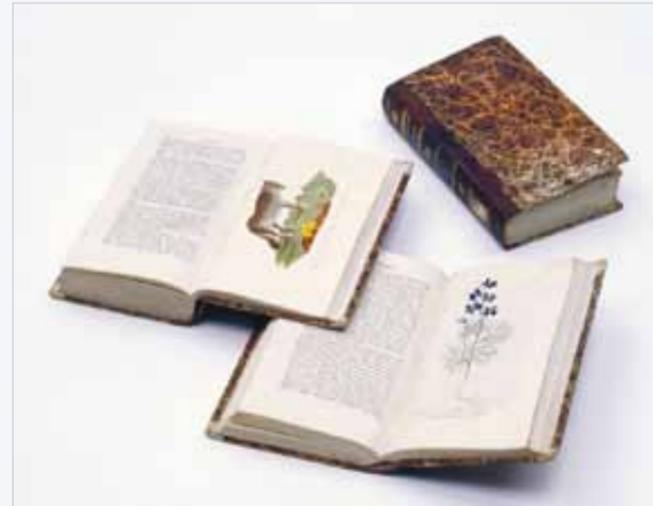
群青 | 武雄市重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



スマルト | 国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



武雄の岩絵具 | 武雄市重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



ショメル『簡約日用百科事典』  
フランス ノエル・ショメル編オランダ・A・シャルモット訳 | 国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



トゥッケンス『オランダ陸軍の服装と武装』  
トゥッケンス著 | 国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



万国新話 | 森島中良 編 | 国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



万国人物図 | 個人



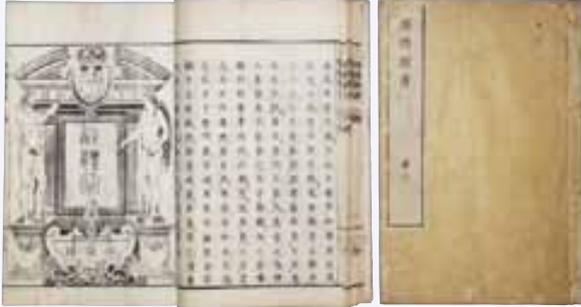
植物図絵 | 国重要文化財 | 武雄鍋島家資料 武雄市



フランスにおける戦い | 公文家資料 | 武雄市

# 秋田蘭画

江戸時代中期の安永年間(1772~1781)に秋田(久保田)藩で成立した和洋折衷派絵画を秋田蘭画と呼んでいます。西洋画の手法を取り入れた構図と絹本着色で掛け軸といった純日本的な画材を使用した点に特徴があり、またプルシアンブルーの使用も見られます。西洋的な遠近法の技法は、後世の浮世絵にも影響を与えました。解体新書の写画を担当した秋田藩士の小田野直武や、藩主佐竹曙山(義敦)、その一族の佐竹義躬が描いた作品が残っています。



『解体新書』挿絵写 小田野直武 | 大分市歴史資料館



児童愛犬図 | 小田野直武 作 | 秋田市立千秋美術館



笹に白兔図 | 小田野直武 作 | 秋田市立千秋美術館



紅毛童子図 | 田代忠国 作 | 神戸市立博物館



燕子花にナイフ図 | 佐竹曙山 作 | 秋田市立千秋美術館



燕子花にハサミ図 | 佐竹曙山 作 | 神戸市立博物館



椿に文鳥図 | 佐竹曙山 作 | 神戸市立博物館



不忍池図 | 小田野直武 作 | 原資料:国重要文化財 | 秋田県立近代美術館

※紹介する作品の中には、パネルによる展示もあります。